

令和7年度使用  
中学校用教科用図書  
採択参考資料

技術・家庭（家庭分野）

家庭分野

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	家庭 002-72
6 教図	家庭 006-72
9 開隆堂	家庭 009-72



# 技術・家庭（家庭分野）

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書      6 教図      9 開隆堂

### 2 調査研究の観点

- (1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 家庭や地域との連携を図ることができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 写真、図表、資料等が適切であり、他の内容や題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 ..... 観点(1)～(4)
  - ① 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数
  - ② 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示
  - ③ 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例
- (2) 問題解決的な学習に関すること ..... 観点(1)
- (3) 生徒や学校、地域の実態に関すること ..... 観点(2)
- (4) 各内容の構成等に関すること ..... 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等の工夫に関すること ..... 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	題材構成等			頁	図表	二次元コード	写真	参考・資料
	編	章	節					
A家族・家庭生活	2	5	20	69	21	31	95	17
B衣食住の生活	3	10	38	164	126	43	269	48
C消費生活・環境	1	3	9	28	27	13	1	9
生活の課題と実践			6	11	1	6	28	0
合計	6	18	73	272	175	93	393	74

※内容Aにはガイダンスも含む。

※節については、内容A～Cの「学習のまとめ」も含む。『生活の課題と実践』は課題例の数。

※写真は、図表、参考・資料、発展に関係するマークや表示に含まれていないものの数。

※参考・資料は「資料」と「プロに聞く」の表示の数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との関連	他教科との関連	現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容との関連	小学校との関連	発展
A家族・家庭生活	19	10	12	2	5
B衣食住の生活	94	27	137	16	2
C消費生活・環境	27	10	26	4	1
生活の課題と実践	4	2	3	0	0
合計	144	49	178	22	8

※他題材等との関連は、他題材等ページへの「リンク」マークの表示の数。

※他教科との関連は、他教科への「リンク」マーク、技術分野への「リンク」マークの表示の数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「衛生」「マナー」「環境」「消費者」「伝統文化」「防災」「情報モラル」のマークの表示の数。

※小学校との関連は、小学校への「リンク」マークの表示の数。

※発展は「発展」マークの表示の数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す事例
A家族・家庭生活	33	16	7
B衣食住の生活	52	101	27
C消費生活・環境	11	0	4
生活の課題と実践	0	0	6
合計	96	117	44

※設定課題は「レッツスタート」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」の課題の数。

※実践的・体験的な課題や事例は、(2)の関連表示がない実践的な課題や事例の数。

※家庭等での実践を促す事例は「生活に生かそう」「私のオリジナル」の事例や、『生活の課題と実践』の事例の数。

## 2 問題解決的な学習に関すること

- ガイダンスのページが第1編の1章に組み込まれており、小・中学校の学習内容、家庭分野の見方・考え方の例、自分の生活をチェックする内容等が掲載されている。
- 各編には、関連する見方・考え方、家族・家庭の基本的な機能の例が示されている。
- 各節の最初に「レッツスタート」という導入課題が設定され、教科書に例が示されている。
- 各節には、「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」等の小課題が設定されている。
- 「図」には、本文の根拠となる資料等が掲載されている。
- 調理実習例や製作実習例では、実習を振り返る「できたかな？」や「チェック」が掲載され、工夫例として「私のオリジナル」が掲載されている。
- 『生活の課題と実践』では、実践例とともに実践の進め方やまとめ方などが掲載されている。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 「日本各地の郷土料理」では、全国の郷土料理を扱っている。
- 調理実習で使用する食品でアレルギー物質を含むものについては、「！」のマークで示している。
- 調理実習では、実習例と参考例の他、配膳例や組み合わせる料理の例が掲載されている。
- 調理に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 布を用いた製作の実習例には、中学生の生活と関わりのある作品が掲載されている。
- 幼児との触れ合い体験の実習例は、幼児施設への訪問、中学校への招待、児童館への訪問の他、幼児と接する機会がないときの手立てとして、オンラインでの交流、写真や動画での観察等を示している。

## 4 各内容の構成等に関すること

- 教科書の構成として、A家族・家庭生活の編が最初と最後に分かれている。
- 各編の最初のページには、学習の内容と小学校での学びが示されており、課題設定について記述する箇所が設けられている。
- 各節の最初に「目標」と「学習課題」が、終わりに「まとめよう」または「生活に生かそう」が設定されている。
- 章の最後に、学習内容を確認する「学習のまとめ」が設定されている。
- SDGsの全ての目標が巻末に掲載され、学習内容と関連のあるSDGsの目標をマークで示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 巻末には、災害への備えやユニバーサルデザインについての資料が掲載されている。
- 調理実習、製作実習のページに、基礎的な技能を確認する「いつも確かめよう」が設けられている。
- 実習や製作の手順を示しているところは、1ページの中に収まるよう配置されている。
- 学習のまとめの問題は、評価の3観点に対応している。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 内容と関連した職業についている人のメッセージ「プロに聞く！」が掲載されている。
- 脚注には、「せいかつメモ」が掲載されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	題材構成等			頁	図表	二次元コード	写真	参考・資料
	編	章	節					
A家族・家庭生活	1	2	13	70	22	18	134	20
B衣食住の生活	1	6	29	152	73	47	311	44
C消費生活・環境	1	2	10	44	26	7	22	11
生活の課題と実践			8	10	0	0	23	0
合計	3	10	60	276	121	72	490	75

※内容Aにはガイダンスも含む。

※節については、内容A～Cの章末のまとめも含む。『生活の課題と実践』は課題例の数。

※写真は、図表、参考・資料、発展に関するマークや表示に含まれていないものの数。

※参考・資料は「資料」「参考」と「メッセージ」「センパイに聞こう」の表示の数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との関連	他教科との関連	現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容との関連	小学校との関連	発展
A家族・家庭生活	5	3	15	2	2
B衣食住の生活	43	17	65	19	2
C消費生活・環境	7	7	15	2	2
生活の課題と実践	14	0	0	0	0
合計	69	27	95	23	6

※他題材等との関連は、他題材ページへの「関連」マークの表示の数。

※他教科との関連は、「関連」マークと教科名の表示の数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「衛生」「環境」「防災」「消費者」「伝統文化」「共生」のマークの表示の数。

※小学校との関連は、「関連」マークの表示の数。

※発展は「発展」マークの表示の数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す事例
A家族・家庭生活	26	8	8
B衣食住の生活	70	52	40
C消費生活・環境	25	0	8
生活の課題と実践	0	0	8
合計	121	60	64

※設定課題は「見つめてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「発表してみよう」「思い出してみよう」「観察してみよう」「体験してみよう」の課題の数。

※実践的・体験的な課題や事例は、(2)の関連表示がない実践的な課題や事例の数。

※家庭等での実践を促す事例は、「学びを生かそう」「私のアレンジ」や『生活の課題と実践』の事例の数。

## 2 問題解決的な学習に関すること

- ガイダンスのページでは、家庭分野の見方・考え方の例、小・中学校の学習内容、家庭分野の学習と人や社会とのつながり等が掲載されている。
- 各編には、学習内容の例示と「自立度チェック」が示されている。
- 各節の最初に「見つめる」という導入資料が示されている。
- 各節には、「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の小課題が設定されている。
- 「図」には、本文の根拠となる資料等が掲載されている。
- 調理実習例や製作実習例では、「私のアレンジ」として様々な工夫例が掲載されている。
- 『生活の課題と実践』では、編や章を示し、学んだこととの関連が掲載されている。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 「日本各地の郷土料理」では、全国の郷土料理を扱っている。
- 調理実習で使用する食品でアレルギー物質を含むものについては、赤の下線で示している。
- 調理実習では、肉・魚・野菜の題材にそれぞれ煮る、焼く、蒸す、の加熱調理例が掲載されている。
- 調理に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 布を用いた製作の実習例には、中学生の生活と関わりのある作品が掲載されている。
- 幼児との触れ合い体験の実習例は、幼児施設への訪問、中学校への招待、地域での触れ合いの他、幼児と接する機会がないときの手立てとして、ロールプレイングによる学習、絵本や物語からの学習等を示している。

## 4 各内容の構成等に関すること

- 教科書の構成は、A家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の順になっている。
- 各編の最初のページには、学習の内容と小学校での学びが示されている。
- 各節の最初に「めあて」と「見つめる」が、終わりに「ふり返る」と「私の学び」が設定されている。
- 章の最後に、学習内容を確認する「学びを生かそう」が設定されている。
- SDGsの全ての目標がガイダンスに掲載され、学習内容と関連のあるSDGsの目標をマークで示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 巻末には、献立を立てられる料理シールの付録がついているとともに、暮らしとつながるマーク・ラベルが示されている。
- 調理実習、製作実習の前に、基礎的・基本的な技能を確認するページが設けられている。
- 実習や製作の手順を示しているところは、1ページの中に収まるよう配置されている。
- 学習のふり返りの問題は、評価の3観点に対応している。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 内容と関連した職業についている人のメッセージ「センパイに聞こう！」が掲載されている。
- 節の「見つめる」に、内容に関連する中学校生活の一コマが写真やイラストで示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	題材構成等			頁	図表	二次元コード	写真	参考・資料
	編	章	節					
A 家族・家庭生活	1	7	23	86	27	23	140	35
B 衣食住の生活	1	15	46	174	118	53	653	47
C 消費生活・環境	1	4	14	30	32	12	17	14
生活の課題と実践			10	12	0	0	24	0
合計	3	26	93	302	177	88	834	95

※内容Aにはガイダンスも含む。

※節については、内容A～Cの「学習のまとめ」も含む。『生活の課題と実践』は課題例の数。

※写真は、図表、参考・資料、発展に関係するマークや表示に含まれていないものの数。

※参考・資料は「参考」と「先輩からのエール」の表示の数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との関連	他教科との関連	現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容との関連	小学校との関連	発展
A 家族・家庭生活	33	21	2	0	5
B 衣食住の生活	51	28	57	13	6
C 消費生活・環境	21	10	2	8	1
生活の課題と実践	6	0	0	0	0
合計	111	59	61	21	12

※他題材等との関連は、他題材ページへの「→」マークの表示の数。

※他教科との関連は、「他教科」マークの表示の数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「衛生」「消費・環境」「防災」「伝統文化」のマークの表示の数。

※小学校との関連は、「小学校」マークの表示の数。

※発展は「発展」マークの表示の数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す事例
A 家族・家庭生活	35	3	6
B 衣食住の生活	58	83	10
C 消費生活・環境	21	2	3
生活の課題と実践	0	0	10
合計	114	88	29

※設定課題は「話し合ってみよう」「発表しよう」「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「工夫してみよう」「身近なことから考えられる課題」の課題の数。

※実践的・体験的な課題や事例は、(2)の関連表示がない実践的な課題や事例の数。

※家庭等での実践を促す事例は「地域の取り組み」「中学生の取り組み」のマークがついている事例や、『生活の課題と実践』の事例の数。



## 2 問題解決的な学習に関すること

- ガイダンスのページでは、家庭分野の学び方と身に付けたい力、自立と共生で成り立っている生活、生活課題の見つけ方等が掲載されている。
- 各編には、「自分の興味・関心を大切に」が示されている。
- 各節の最初に導入課題が設定され、教科書に例が示されている。
- 各節には、「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の小課題が設定されている。
- 「図」には、本文の根拠となる資料等が掲載されている。
- 調理実習例には科学的な根拠を示す「調理方法のQ&A」が掲載されている。
- 『生活の課題と実践』では、実践例とともにまとめ方や発表例が掲載されている。

## 3 生徒や学校、地域の実態に関すること

- 「日本各地の郷土料理」では、全国の郷土料理を扱っている。
- 調理実習で使用する食品でアレルギー物質を含むものについては、黄色のマーカーで示している。
- 調理実習では、実習例の他、組み合わせ例やアレンジ例が掲載されている。
- 調理に関する技能を身に付ける場面では、右利き、左利き両方が掲載されている。
- 布を用いた製作の実習例には、中学生の生活と関わりのある作品が掲載されている。
- 幼児との触れ合い体験の実習例は、幼児施設への訪問、中学校への招待、子育て支援センター等への訪問の他、幼児と接する機会がないときの手立てとして、オンラインでの交流、動画での観察等を示している。

## 4 各内容の構成等に関すること

- 教科書の構成は、A家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の順になっている。
- 各編の最初のページには、学習の内容と小学校での学びが示されている。
- 各節の最初に「学習の目標」が、終わりに「考えてみよう」「やってみよう」などが設定されている。
- 章の最後に、学習内容を確認する「学習のまとめ」が設定されている。
- SDGsの全ての目標がガイダンスに掲載され、学習内容と関連のあるSDGsの目標をマークで示している。

## 5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 巻末には、「世界に視野を広げて」①～③の資料が掲載されている。
- 調理実習、製作実習の前に、基礎的・基本的な技能を確認するページが設けられている。
- 実習や製作の手順を示しているところは、1ページの中に収まるよう配置されている。
- 学習のまとめの問題は、評価の3観点に対応している。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 内容と関連した職業についている人のメッセージ「先輩からのエール」が掲載されている。
- 脚注には、「豆知識」が掲載されている。

